

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
昭和61年9月1日 第23報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Anabaena affinis</i> *	580	○	○
(藍) <i>Phormidium tenue</i> *	40		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	540		
(珪) <i>Gyrosigma acuminatum</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas erosa</i>	40		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	20		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	1800	◎	◎
(藍) 藍藻綱	620	20.1	26.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	600	19.5	35.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	60	1.9	2.1
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1800	58.4	36.4
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	3080	総体積 ( $\mu\text{m}^3$ )	4.95E+06
種類数	9		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	1800

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
藍藻綱	<i>Anabaena affinis</i> *	580

### 植物プランクトン第1優占種



*Pediastrum biwae*  
(ピワクンショウモ)  
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

### 植物プランクトン第2優占種



*Anabaena affinis*  
(アナベナ)  
藍藻綱

糸状体は単独または束状の群体をつくる。細胞は球形または短い樽形である。